

「差別のない社会を築く」

アメリカのジョージ・ブッシュ大統領が「テロとの戦い」を宣言し、戦いに突入してから16年が過ぎました。しかし世界では、各地でテロが相次ぎ、多くの市民が犠牲になっていきます。この問題の背景には宗教や人種あるいは民族の問題が潜んでいます。イスラム教が過激な宗教かという点、もちろんそうではありません。テロとは関係ないイスラム教徒の中には「見た目だけで差別され、心無い扱いや嫌がらせを受けた人もいます。」

差別や偏見はいけないとわかっていても、やはり私たちは気づかずに「レッテル」を貼ってしまうことがあります。その人の自身の良さを認めようとしないうのは、心の狭さが生み出すものです。平和で豊かな社会の礎には「人権尊重」が欠かせないものだと考えられます。私たち一人ひとりが「人権」について高い意識を持ち、差別や偏見を許さない精神を持つことが大切です。

東秩父中学校人権教育主任
加藤 友裕

島国である日本で育った私たちに、宗教や人種の問題について考える機会が少ないかもしれません。しかし、急速な国際化により、外国人と関わる機会がさらに増えてくるでしょう。そんなグローバルな時代を生きる今、本校の生徒には、広い視野と正しい判断力を持ち、他者を大切にし、認め合える豊かな心を育んでもらいたいと考えています。

☆いきいき男女☆ 応援プロジェクト!



大字安戸在住
こばやし あやか
小林 彩香さん
(25歳)

【あなたの日常は?】

今年の1月より自宅でのネイルサロンを始めました。

パート、子育てと日々バタバタしながら過ごしています。

週末は基本休みですが、予約をいただいた時は主人が子どもと遊びながら待っていてくれるので、とても助かっています。

【今後の男女共同参画社会に望むことは?】

現在も女性の社会復帰がしにくい環境だと思います。それには男性の育児に対する協力性が高まり、育休の取りやすい社会になることを望みます。

*男女共同参画担当から一言

育児とお仕事の両立、お疲れ様です。夫婦で助け合う育児の実践、素晴らしいと感じました。

本村でも、男女ともに協力し合う育児を推進していきたいと考えます。

東秩父を全力応援!



地域おこし協力隊通信



5月13日・14日に和紙の体験教室を実施しました!

13日はうちわ作り、14日には母の日に合わせて手形アート作りをしました。

手形アートは今回初めての実施でしたが、和紙に触れるきっかけになったり、

子どもたちのたくさんの笑顔を見れて良かったです。

現代では、和紙は私たちの暮らしにあまり身近ではなくなってきているからこそ、体験を通して和紙に親んでもらい、身近に感じてほしいという思いで取り組んでいます。今までにも和紙だるま・クリスマスカード・コインケース作りなどを実施してきました。

「東秩父村に来たらこんな体験ができる!」と思ってもらえるよう、今後も和紙の楽しみ方を知ってもらう機会作りと新たな体験企画を考えていきたいです。

